

Japanese
The Evidence of Being Spirit Filled
TCA-162EVI

聖霊に満たされている証拠



ウィリアム・マリオン・ブラハム



www.messagehub.info

Japanese
The Evidence of Being Spirit Filled
TCA-162EVI

聖霊に満たされている証拠



ウィリアム・マリオン・ブラハム



www.messagehub.info

はじめに

オーディオや転写された1100の説教がウィリアムブラナムによって語られたものが無料でダウンロード可能で又多くの言語で印刷可能になっています。(日本語での翻訳あり)

変更が行わないかぎり、メッセージを無料でコピー、配布することは許可されています。

www.messagehub.info

はじめに

オーディオや転写された1100の説教がウィリアムブラナムによって語られたものが無料でダウンロード可能で又多くの言語で印刷可能になっています。(日本語での翻訳あり)

変更が行わないかぎり、メッセージを無料でコピー、配布することは許可されています。

www.messagehub.info

聖霊に満たされている証拠

「これらのことは、両刃の鋭い剣を
持っている彼が言う。」

(黙示録 2:12)

三番目の教会時代へのことばが語られようとしています。教会の中を歩かれるお方、キリストのドラマの第三幕が今開こうとして、霊がラツパのような声で、比べるもののないお方をこう紹介します、「鋭い、両刃の剣を持つお方」と。ピラトが大衆を前に紹介した神の子羊のときとなんという違いでしょう。あのときは、紫の衣を着せられ、嘲られ、打たれ、棘のかんむりをかぶされ、言われました、「見よ、あなたたちの王だ!」ところが今や、威厳に満ちた着物をまとい、栄光のかんむりをかぶり、よみがえった主が堂々とかう叫びます、「キリスト、神の力」と。

「鋭い、両刃の剣を持つお方」という言葉によって、また新たなイエスキリストの神性が明らかにされました。エフェソの時代には「神は不変のお方」であることが、スミルナの時代には「真実なる神はおひとりであり、他にいない」ということがはっきりしましたが、このペルガモン時代で、「キリストは神のことばである鋭い両刃の剣を持っておられる」ことがわかりました。

聖霊に満たされている証拠

「これらのことは、両刃の鋭い剣を
持っている彼が言う。」

(黙示録 2:12)

三番目の教会時代へのことばが語られようとしています。教会の中を歩かれるお方、キリストのドラマの第三幕が今開こうとして、霊がラツパのような声で、比べるもののないお方をこう紹介します、「鋭い、両刃の剣を持つお方」と。ピラトが大衆を前に紹介した神の子羊のときとなんという違いでしょう。あのときは、紫の衣を着せられ、嘲られ、打たれ、棘のかんむりをかぶされ、言われました、「見よ、あなたたちの王だ!」ところが今や、威厳に満ちた着物をまとい、栄光のかんむりをかぶり、よみがえった主が堂々とかう叫びます、「キリスト、神の力」と。

「鋭い、両刃の剣を持つお方」という言葉によって、また新たなイエスキリストの神性が明らかにされました。エフェソの時代には「神は不変のお方」であることが、スミルナの時代には「真実なる神はおひとりであり、他にいない」ということがはっきりしましたが、このペルガモン時代で、「キリストは神のことばである鋭い両刃の剣を持っておられる」ことがわかりました。

「神のことは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄の分かれ目さえも刺し通し、心のいろいろな考えやはかりごとを判別することができます。」

(ヘブル 4:12)

「御霊の与える剣である、神のことは受け取りなさい。」

(エペソ 6:17)

「その方は血に染まった衣を着ていて、その名は「神のことは」と呼ばれた。」

(黙示録 19:13)

「この方の口からは諸国の民を打つために、鋭い剣が出ていた。」

(黙示録 19:15)

「初めに、ことはがあった。ことは神とともにあった。ことは神であった。この方は、初めに神とともにおられた。すべてのものは、この方によって造

「神のことは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄の分かれ目さえも刺し通し、心のいろいろな考えやはかりごとを判別することができます。」

(ヘブル 4:12)

「御霊の与える剣である、神のことは受け取りなさい。」

(エペソ 6:17)

「その方は血に染まった衣を着ていて、その名は「神のことは」と呼ばれた。」

(黙示録 19:13)

「この方の口からは諸国の民を打つために、鋭い剣が出ていた。」

(黙示録 19:15)

「初めに、ことはがあった。ことは神とともにあった。ことは神であった。この方は、初めに神とともにおられた。すべてのものは、この方によって造

仰が与えられているのですから、人をえこひいきしてはいけません。」という言葉に、応じていました。ステパノのように聖霊と信仰に満ちていたので、人を分け隔てしたり、恐れたりしませんでした。ですから、イエスの御名を信じイエス・キリストの信仰によって生活する者に死の宣告が下されたとき、彼は挫折しない人たちと共にいました。彼は死にましたが、アベルのように名前が聖書に記されましたし、死んだ後も語り続ける彼の声は神の記録に残されています。忠実な殉教者が永眠についたのです。しかし、平和の君を殺したときと同様、サタンに勝利はありませんでした。彼は十字架によって地位を奪われ、今度はアンティパスの血が、自分の十字架を背負ってキリストに従う何百人もの兄弟たちに叫んでいます。

られた。造られたもので、この方によらずにできたものは一つもない。」

(ヨハネ 1:1-3)

「天において証しをするのは三者です。それは御父、みことば、御霊です。この三者は一致しています。」

(1ヨハネ 5:7)

キリストが、神のことばと切っても切れない関係にあることが、これでわかりました。神はことばです。御名にはことばが含まれています。

ヨハネ 1:1 で、「初めにことばがあった」とありますが、「ことば」という訳の語源は「ロゴス」で、それは「思考」とか「観念」という意味です。これには、「思考」と「発言」という二重の意味があります。思考が言い表わされると「ことば」になります。なんだか素敵ではありませんか。ヨハネは、神の観念がイエスによって写し出されて現れていたと言っています。パウロもこれと同じことを言っています、

「神は、昔父祖たちに、預言者たちを通して、多くの部分に分け、また、いろいろな方法で語られましたが、この終

仰が与えられているのですから、人をえこひいきしてはいけません。」という言葉に、応じていました。ステパノのように聖霊と信仰に満ちていたので、人を分け隔てしたり、恐れたりしませんでした。ですから、イエスの御名を信じイエス・キリストの信仰によって生活する者に死の宣告が下されたとき、彼は挫折しない人たちと共にいました。彼は死にましたが、アベルのように名前が聖書に記されましたし、死んだ後も語り続ける彼の声は神の記録に残されています。忠実な殉教者が永眠についたのです。しかし、平和の君を殺したときと同様、サタンに勝利はありませんでした。彼は十字架によって地位を奪われ、今度はアンティパスの血が、自分の十字架を背負ってキリストに従う何百人もの兄弟たちに叫んでいます。

られた。造られたもので、この方によらずにできたものは一つもない。」

(ヨハネ 1:1-3)

「天において証しをするのは三者です。それは御父、みことば、御霊です。この三者は一致しています。」

(1ヨハネ 5:7)

キリストが、神のことばと切っても切れない関係にあることが、これでわかりました。神はことばです。御名にはことばが含まれています。

ヨハネ 1:1 で、「初めにことばがあった」とありますが、「ことば」という訳の語源は「ロゴス」で、それは「思考」とか「観念」という意味です。これには、「思考」と「発言」という二重の意味があります。思考が言い表わされると「ことば」になります。なんだか素敵ではありませんか。ヨハネは、神の観念がイエスによって写し出されて現れていたと言っています。パウロもこれと同じことを言っています、

「神は、昔父祖たちに、預言者たちを通して、多くの部分に分け、また、いろいろな方法で語られましたが、この終

わりの時には、御子(ロゴス)によって、私たちに語られました。神は、御子を万物の相続者とし、また御子によって世界を造られました。御子は神の栄光の輝き、また神の本質の完全な現れであり、その力あるみことばによって万物を保っておられます。また、罪のきよめを成し遂げて、すぐれて高い所の大能者の右の座に着かれました。」

(ヘブル 1:1-3)

神はイエスキリストによって的確に表わされました。イエスは神の写しの現れなのです。

「ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。」

(ヨハネ 1:14)

神の実体が肉の人となって、私たちの間に住まわれました。近づくことも見ることもできない偉大な霊なる神が、肉体に宿って人とともに住み、神のすべてを人に明らかにされたのです。

「いまだかつて神を見た者はいない。父のふところにおられるひとり子の

ではないのです。御子の信仰が人の心に入ることによって、人は栄光の主を迎える神殿となり得るのです。神殿はもはや建物のことではありません。

これが生きた信仰です。

「わたしは御子の信仰によって生かされています。」これはパウロの言葉です。彼は御子を信じることによって生きているとは言いませんでした。パウロにがいのちを得て勝利するキリスト者として生き続けることができたのは御子の信仰のおかげでした。

彼らは救いが、初めから終わりまで、超自然の出来事であることを否定しませんでした。彼らはイエスのみ名と信仰の真理を守り続け、主から祝福を受けました。そして主のものであると認められました。

アンティパス 私の忠実な殉教者

アンティパスに関しては、聖書にも通俗の歴史にも何も記録が残っていません。しかしその必要はないでしょう。彼が生まれるより前に主に知られていたこと、彼の主への忠実さが生きたことばの中に記憶されていること、それだけでじゅうぶんなのです。彼はキリスト者で、イエスの御名を守っていました。主イエスキリストの信仰を持ち、その信仰によって生きた人たちのひとりでした。ヤコブが言った「主イエス・キリストの信

わりの時には、御子(ロゴス)によって、私たちに語られました。神は、御子を万物の相続者とし、また御子によって世界を造られました。御子は神の栄光の輝き、また神の本質の完全な現れであり、その力あるみことばによって万物を保っておられます。また、罪のきよめを成し遂げて、すぐれて高い所の大能者の右の座に着かれました。」

(ヘブル 1:1-3)

神はイエスキリストによって的確に表わされました。イエスは神の写しの現れなのです。

「ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。」

(ヨハネ 1:14)

神の実体が肉の人となって、私たちの間に住まわれました。近づくことも見ることもできない偉大な霊なる神が、肉体に宿って人とともに住み、神のすべてを人に明らかにされたのです。

「いまだかつて神を見た者はいない。父のふところにおられるひとり子の

ではないのです。御子の信仰が人の心に入ることによって、人は栄光の主を迎える神殿となり得るのです。神殿はもはや建物のことではありません。

これが生きた信仰です。

「わたしは御子の信仰によって生かされています。」これはパウロの言葉です。彼は御子を信じることによって生きているとは言いませんでした。パウロにがいのちを得て勝利するキリスト者として生き続けることができたのは御子の信仰のおかげでした。

彼らは救いが、初めから終わりまで、超自然の出来事であることを否定しませんでした。彼らはイエスのみ名と信仰の真理を守り続け、主から祝福を受けました。そして主のものであると認められました。

アンティパス 私の忠実な殉教者

アンティパスに関しては、聖書にも通俗の歴史にも何も記録が残っていません。しかしその必要はないでしょう。彼が生まれるより前に主に知られていたこと、彼の主への忠実さが生きたことばの中に記憶されていること、それだけでじゅうぶんなのです。彼はキリスト者で、イエスの御名を守っていました。主イエスキリストの信仰を持ち、その信仰によって生きた人たちのひとりでした。ヤコブが言った「主イエス・キリストの信

信仰(英語では Faith of our Lord
つまり信仰の与え主は主)をもっている
のですから、人をえこひいきしてはいけ
ません。」

また、ヤコブの手紙 2:1 にも次のように書かれて
います。

このペルガモの時代に、救いに人間的解釈が取り
込まれ、人々は「救いは主のもの」という真理に背を
向けたのです。そして神の選びという教えは退けら
れ、教会の扉は広く開かれて誰でも教義に同意する
なら兄弟として迎え入れられました。みことばは置き
去りにされました。しかし、このような急激な退化の時
代にあっても、主イエスキリストの信仰を守り、その信
仰によって力の証しをする少数の信者がいました。彼
らは、教会に属しているから救われていると口にする
人々に反対していました。なぜなら、永遠のいのちと神
の義を本当に信じるためには、主イエス・キリストご自
身の信仰が与えられなければならないことを彼らが知
っていたからです。さて、こんにちの教会は、自分を信
者と思い込んでいる人たちで満ちています。彼らは処
女懐胎、流された血、教会に通うこと、聖餐にあずか
ることなどは認めています。霊によって生まれ変わ
る体験をしていません。同じ問題がペルガモの教会に
もありました。当時も今も、人間の信仰だけでは十分

信仰(英語では Faith of our Lord
つまり信仰の与え主は主)をもっている
のですから、人をえこひいきしてはいけ
ません。」

また、ヤコブの手紙 2:1 にも次のように書かれて
います。

このペルガモの時代に、救いに人間的解釈が取り
込まれ、人々は「救いは主のもの」という真理に背を
向けたのです。そして神の選びという教えは退けら
れ、教会の扉は広く開かれて誰でも教義に同意する
なら兄弟として迎え入れられました。みことばは置き
去りにされました。しかし、このような急激な退化の時
代にあっても、主イエスキリストの信仰を守り、その信
仰によって力の証しをする少数の信者がいました。彼
らは、教会に属しているから救われていると口にする
人々に反対していました。なぜなら、永遠のいのちと神
の義を本当に信じるためには、主イエス・キリストご自
身の信仰が与えられなければならないことを彼らが知
っていたからです。さて、こんにちの教会は、自分を信
者と思い込んでいる人たちで満ちています。彼らは処
女懐胎、流された血、教会に通うこと、聖餐にあずか
ることなどは認めています。霊によって生まれ変わ
る体験をしていません。同じ問題がペルガモの教会に
もありました。当時も今も、人間の信仰だけでは十分

神が、神を解き明かされたのである。」

(ヨハネ 1:18)

神はある時は雲の柱や火の柱になってご自身を
現し、人びとの心に恐れを与えました。この神のみ心
は、(旧約時代は)預言者の語ることばによってのみ明
らかにされていましたが、今やイマヌエル(神がともに
おられる)となってご自身を言明されました。この「言
明する」という言葉の語源は、ギリシャ語で「釈義、講
釈」を意味し、つまり、徹底的に説明して、明白にする
ということです。生きたみことばであるイエスがそれを
なさいました。イエスは私たちに完璧に神を解き明か
してくださいました。イエスが神だからです。

「初めからあったもの、私たちが聞
いたもの(ロゴスとは発言という意味
です)、目で見たもの、じっと見、また手
でさわったもの、すなわち、いのちのこ
とばについて、一このいのちが現れ、私
たちはそれを見たので、そのあかしを
し、あなたがたにこの永遠のいのちを伝
えます。すなわち御父とともにあって、
私たちに現された永遠のいのちです。
一私たちの見たこと、聞いたことを、あ
なたがたにも伝えるのは、あなたがたも

神が、神を解き明かされたのである。」

(ヨハネ 1:18)

神はある時は雲の柱や火の柱になってご自身を
現し、人びとの心に恐れを与えました。この神のみ心
は、(旧約時代は)預言者の語ることばによってのみ明
らかにされていましたが、今やイマヌエル(神がともに
おられる)となってご自身を言明されました。この「言
明する」という言葉の語源は、ギリシャ語で「釈義、講
釈」を意味し、つまり、徹底的に説明して、明白にする
ということです。生きたみことばであるイエスがそれを
なさいました。イエスは私たちに完璧に神を解き明か
してくださいました。イエスが神だからです。

「初めからあったもの、私たちが聞
いたもの(ロゴスとは発言という意味
です)、目で見たもの、じっと見、また手
でさわったもの、すなわち、いのちのこ
とばについて、一このいのちが現れ、私
たちはそれを見たので、そのあかしを
し、あなたがたにこの永遠のいのちを伝
えます。すなわち御父とともにあって、
私たちに現された永遠のいのちです。
一私たちの見たこと、聞いたことを、あ
なたがたにも伝えるのは、あなたがたも

私たちと交わりを持つようになるためです。私たちの交わりとは、御父および神子イエス・キリストとの交わりです。」

(1ヨハネ 1:1-3)

神が余すところなくご自分を明らかにされたのは、神が肉体のうちに宿っておられた時でした。「わたしを見た者は、父を見たのです。」(ヨハネ 14:9)

ヘブル 1:1-3 で、イエスが神の完全な現れであること、人々に神を現すために、ひととなってくださった神であることがわかりました。もう少し注意して、この聖書箇所を読んでみましょう。

「神は、昔父祖たちに、預言者たちを通して、多くの部分に分け、また、いろいろな方法で語られましたが、この終わりの時には、御子(ロゴス)によって、私たちに語られました。」

この『預言者たちを通して』という箇所を原語から詳細に訳すと、『預言者たちがみことばを発言することによって』となります。

「主のことばによって、主がご自身をシロでサムエルに現されたからであ

私たちと交わりを持つようになるためです。私たちの交わりとは、御父および神子イエス・キリストとの交わりです。」

(1ヨハネ 1:1-3)

神が余すところなくご自分を明らかにされたのは、神が肉体のうちに宿っておられた時でした。「わたしを見た者は、父を見たのです。」(ヨハネ 14:9)

ヘブル 1:1-3 で、イエスが神の完全な現れであること、人々に神を現すために、ひととなってくださった神であることがわかりました。もう少し注意して、この聖書箇所を読んでみましょう。

「神は、昔父祖たちに、預言者たちを通して、多くの部分に分け、また、いろいろな方法で語られましたが、この終わりの時には、御子(ロゴス)によって、私たちに語られました。」

この『預言者たちを通して』という箇所を原語から詳細に訳すと、『預言者たちがみことばを発言することによって』となります。

「主のことばによって、主がご自身をシロでサムエルに現されたからであ

の信仰が奇跡を起こしたのです。ペトロは自分の信仰が奇跡を起こしたとは言いませんでしたし、ましてや自分の名前によってとも言いませんでした。ペトロの説明によれば、イエスから出る信仰によってイエスの御名を使うことで大きな力が働くのです。この信仰こそが、主が黙示録 2:13 で語られたものであり、イエスの信仰なのです。ここでいう信仰とは、イエスを信じるのではなく、イエスご自身の信仰が信者たちに与えられたものなのです。

「(兄弟たちよ、)だれでも、思うべき限度を超えて思い上がってはいけません。いや、むしろ、神がおのおのに分け与えてくださった信仰の量りに応じて、慎み深い考え方をしなさい。」

(ローマ 12:3)

「あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それ(信仰)は、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。」

(エペソ 2:8)

「私の兄弟たち。あなたがたは私たちの栄光の主イエスキリストを信じる

の信仰が奇跡を起こしたのです。ペトロは自分の信仰が奇跡を起こしたとは言いませんでしたし、ましてや自分の名前によってとも言いませんでした。ペトロの説明によれば、イエスから出る信仰によってイエスの御名を使うことで大きな力が働くのです。この信仰こそが、主が黙示録 2:13 で語られたものであり、イエスの信仰なのです。ここでいう信仰とは、イエスを信じるのではなく、イエスご自身の信仰が信者たちに与えられたものなのです。

「(兄弟たちよ、)だれでも、思うべき限度を超えて思い上がってはいけません。いや、むしろ、神がおのおのに分け与えてくださった信仰の量りに応じて、慎み深い考え方をしなさい。」

(ローマ 12:3)

「あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それ(信仰)は、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。」

(エペソ 2:8)

「私の兄弟たち。あなたがたは私たちの栄光の主イエスキリストを信じる

神を三つに分け、恵み深い御名を称号と取り替え、神を敬わないことはなほだしいこの時代でも、偉大な御名に伴うしるしと不思議がまだ現れていたのか不思議ではありませんか。確かにしるしや不思議はおびただしく現れていましたが、それは偽のぶどうの木にはありません。マルティンのような忠実なしもべたちがよく神に使え、神はしるしや不思議や聖霊の賜物で彼らの働きを後押ししたのです。御名はこれまでそうであったように力がありますし、これから先も、みことばと信仰を守って主を敬う聖徒らをとおして力を発揮し続けることでしょう。

私の信仰を決して否定しないように

「美しい門」に座っていた、生まれつき足の萎えた男に起こった奇跡の説明を求められたペトロは、

「このイエスの御名が、その御名を信じる信仰のゆえに、あなたがたがいま見ており知っているこの人を強くしたのです。イエスによって与えられる信仰が、この人を皆さんの目の前で完全なからだにしたのです。」

(使徒 3:16)

と、言いました。そうです。イエスの御名とイエス

る。」

(1サムエル 3:21b)

とあるとおりです。1ヨハネ 5:7 とも完全に一致しています。御霊とみことばはひとつです。イエスは父を現し、みことばも父を明らかにしました。イエスは生きたみことばでした。神を称えます!イエスは今も生きているみことばです。

イエスは地上におられたとき、こう言われました。

「あなたは、私が父の中において、父が私の中にいると信じていませんか? 私があなたに話す言葉は、私自身のことではありません。しかし、わたしのうちに住む父は、わざを行われます。」(ヨハネ 14:10)

イエスはそう言われました。どのようにして御子が神を余すところなく完全に現されたのでしょうか。それはイエスに宿っておられた御霊がことばを発語され、そのことばが現実のものとなったことによってです。もし花嫁が、みことばの花嫁に立ち返るなら、イエスが地上でおこなわれたわざをことごとくおこなうでしょう。ことばは神です。御霊は神です。両者はひとつです。ひとつであるので、片方だけでは働けません。も

神を三つに分け、恵み深い御名を称号と取り替え、神を敬わないことはなほだしいこの時代でも、偉大な御名に伴うしるしと不思議がまだ現れていたのか不思議ではありませんか。確かにしるしや不思議はおびただしく現れていましたが、それは偽のぶどうの木にはありません。マルティンのような忠実なしもべたちがよく神に使え、神はしるしや不思議や聖霊の賜物で彼らの働きを後押ししたのです。御名はこれまでそうであったように力がありますし、これから先も、みことばと信仰を守って主を敬う聖徒らをとおして力を発揮し続けることでしょう。

私の信仰を決して否定しないように

「美しい門」に座っていた、生まれつき足の萎えた男に起こった奇跡の説明を求められたペトロは、

「このイエスの御名が、その御名を信じる信仰のゆえに、あなたがたがいま見ており知っているこの人を強くしたのです。イエスによって与えられる信仰が、この人を皆さんの目の前で完全なからだにしたのです。」

(使徒 3:16)

と、言いました。そうです。イエスの御名とイエス

る。」

(1サムエル 3:21b)

とあるとおりです。1ヨハネ 5:7 とも完全に一致しています。御霊とみことばはひとつです。イエスは父を現し、みことばも父を明らかにしました。イエスは生きたみことばでした。神を称えます!イエスは今も生きているみことばです。

イエスは地上におられたとき、こう言われました。

「あなたは、私が父の中において、父が私の中にいると信じていませんか? 私があなたに話す言葉は、私自身のことではありません。しかし、わたしのうちに住む父は、わざを行われます。」(ヨハネ 14:10)

イエスはそう言われました。どのようにして御子が神を余すところなく完全に現されたのでしょうか。それはイエスに宿っておられた御霊がことばを発語され、そのことばが現実のものとなったことによってです。もし花嫁が、みことばの花嫁に立ち返るなら、イエスが地上でおこなわれたわざをことごとくおこなうでしょう。ことばは神です。御霊は神です。両者はひとつです。ひとつであるので、片方だけでは働けません。も

し神の霊が宿っているなら、その人には神のことばもあるのです。それが預言者に備わっていました。彼らに神の霊が宿っており、ことばが入ってきました。イエスも同じでした。イエスのうちに余すところない完全は霊が宿っており、ことばが入ってきました。

「イエスが行い、また教え始めてから」

(使徒言行録 1:1)

「わたしの教えは、自分の教えではなく、わたしをお遣わしになった方の教えである」

(ヨハネ 7:16)

洗礼者ヨハネは預言者であり、その時代の使者でもありました。母親の胎内ですでに聖霊に満たされていました。彼がヨルダン川で洗礼を授けていたとき、神のことば(イエス)がやってきました。ことばは常に、聖霊に満たされた者のところに來ます。これが聖霊に満たされている証拠です。それをイエスが裏付けています、

「わたしは父にお願いします。そうすれば、父はもうひとりの助け主をあなた

し神の霊が宿っているなら、その人には神のことばもあるのです。それが預言者に備わっていました。彼らに神の霊が宿っており、ことばが入ってきました。イエスも同じでした。イエスのうちに余すところない完全は霊が宿っており、ことばが入ってきました。

「イエスが行い、また教え始めてから」

(使徒言行録 1:1)

「わたしの教えは、自分の教えではなく、わたしをお遣わしになった方の教えである」

(ヨハネ 7:16)

洗礼者ヨハネは預言者であり、その時代の使者でもありました。母親の胎内ですでに聖霊に満たされていました。彼がヨルダン川で洗礼を授けていたとき、神のことば(イエス)がやってきました。ことばは常に、聖霊に満たされた者のところに來ます。これが聖霊に満たされている証拠です。それをイエスが裏付けています、

「わたしは父にお願いします。そうすれば、父はもうひとりの助け主をあなた

スの御名によっておこないました。彼らは御名を名乗り、悪から遠ざかりました。そして今や、復活を信じて、御名のために死に臨もうとしていました。

さあ、イエスの御名を受け取りなさい。

悲しみと嘆きの子よ、
喜びと慰めが与えられる。

どこに行くにも御名を掲げよう。

貴い御名のなんとすばらしいことか。

イエスの御名、
それは地上の希望、天上の喜び。

すでに2世紀から「父と子と聖霊」という言葉が「三位一体」という意味で唱えられており、多神教的考えの三神が偽の教会で教義として確立していました。間もなく御名は取り去られ、まさにこの時代において、主イエス・キリストの御名の代わりに唯一の神の三つの称号が唱えられるようになりました。多くの者が御名を捨てて三位一体を奉じ、神の三つの称号を使って洗礼を授けるようになりましたが、神の小さな群は、イエスキリストの御名によって洗礼を受け、真理にとどまっていた。

スの御名によっておこないました。彼らは御名を名乗り、悪から遠ざかりました。そして今や、復活を信じて、御名のために死に臨もうとしていました。

さあ、イエスの御名を受け取りなさい。

悲しみと嘆きの子よ、
喜びと慰めが与えられる。

どこに行くにも御名を掲げよう。

貴い御名のなんとすばらしいことか。

イエスの御名、
それは地上の希望、天上の喜び。

すでに2世紀から「父と子と聖霊」という言葉が「三位一体」という意味で唱えられており、多神教的考えの三神が偽の教会で教義として確立していました。間もなく御名は取り去られ、まさにこの時代において、主イエス・キリストの御名の代わりに唯一の神の三つの称号が唱えられるようになりました。多くの者が御名を捨てて三位一体を奉じ、神の三つの称号を使って洗礼を授けるようになりましたが、神の小さな群は、イエスキリストの御名によって洗礼を受け、真理にとどまっていた。

うに、「神のことばの鏡に自分を写してみなさい。」

「わたしはあなたの行いを知っている。」神のことばキリストは、そこに立っていました。彼が描いた青写真に照らして、彼らの歩みを見つめながら。キリストはとても嬉しく思っていたに違いありません。彼らが、先代の人たちと同じく、不正による迫害に耐えながらも、喜んで主に忠実に従っていたからです。主に従うのが困難な時代でありながら彼らは主に仕え、霊と真理によって主を礼拝していました。しかし偽のぶどうの方はそうはいきませんでした。悲しいことに彼らはみことばを基盤とする生活と縁を切り、真理からどんどん離れていきました。彼らの行いが、どれほど深く彼らが堕ちていったかを証明しました。

私の名をしっかりと持ちなさい

「あなたをおいて、誰のところに行きましょう。あなただけが永遠のいのちのことばを持っておられます。」その頃のみならず、現在も彼らはイエスにしっかりと踏みとどまっています。その様は不毛の人生を送り宿命に怯える人々とは対照的なものです。彼らは罪を許された確信を持ち、その証しとして「クリスチャン」という名を掲げていました。彼らは御名を知っており、世界中のどんな名前よりも愛して、御名にひざまずき、口を用いて御名を告白しました。何をするにも、主イエ

うに、「神のことばの鏡に自分を写してみなさい。」

「わたしはあなたの行いを知っている。」神のことばキリストは、そこに立っていました。彼が描いた青写真に照らして、彼らの歩みを見つめながら。キリストはとても嬉しく思っていたに違いありません。彼らが、先代の人たちと同じく、不正による迫害に耐えながらも、喜んで主に忠実に従っていたからです。主に従うのが困難な時代でありながら彼らは主に仕え、霊と真理によって主を礼拝していました。しかし偽のぶどうの方はそうはいきませんでした。悲しいことに彼らはみことばを基盤とする生活と縁を切り、真理からどんどん離れていきました。彼らの行いが、どれほど深く彼らが堕ちていったかを証明しました。

私の名をしっかりと持ちなさい

「あなたをおいて、誰のところに行きましょう。あなただけが永遠のいのちのことばを持っておられます。」その頃のみならず、現在も彼らはイエスにしっかりと踏みとどまっています。その様は不毛の人生を送り宿命に怯える人々とは対照的なものです。彼らは罪を許された確信を持ち、その証しとして「クリスチャン」という名を掲げていました。彼らは御名を知っており、世界中のどんな名前よりも愛して、御名にひざまずき、口を用いて御名を告白しました。何をするにも、主イエ

たがたにお与えになります。その助け主がいつまでもあなたがたと、ともにおられるためです。その方は真理の御霊です。世はその方を受け入れることができません。」(ヨハネ 14:16-17)

さて御霊が真理であることがわかりました。

「あなたのみことばは真理です。」
(ヨハネ 17:17b)

「あなたがたは、なぜわたしの話して入ることがわからないのでしょうか。それはあなたがたがわたしのことばに耳を傾けることができないからです。」

(ヨハネ 8:43)

この世は聖霊を受けることができないとイエスが言われました。43節では、ことばを受けることもできないと言っておられます。なぜでしょう。それは聖霊のみことばがひとつだからです。もしあなたが預言者のように聖霊に満たされているなら、ことばがやって来ます。そしてあなたは、それを受け取ります。

「しかし、助け主、すなわち、父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊

たがたにお与えになります。その助け主がいつまでもあなたがたと、ともにおられるためです。その方は真理の御霊です。世はその方を受け入れることができません。」(ヨハネ 14:16-17)

さて御霊が真理であることがわかりました。

「あなたのみことばは真理です。」
(ヨハネ 17:17b)

「あなたがたは、なぜわたしの話して入ることがわからないのでしょうか。それはあなたがたがわたしのことばに耳を傾けることができないからです。」

(ヨハネ 8:43)

この世は聖霊を受けることができないとイエスが言われました。43節では、ことばを受けることもできないと言っておられます。なぜでしょう。それは聖霊のみことばがひとつだからです。もしあなたが預言者のように聖霊に満たされているなら、ことばがやって来ます。そしてあなたは、それを受け取ります。

「しかし、助け主、すなわち、父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊

は、あなたがたにすべてのことを教え、
また、わたしがあなたがたに話したすべ
てのことを思い起こさせてくださいま
す。」

(ヨハネ 14:26)

ここでも、ことばが来るのは、神の霊がおられる
からだということがわかります。

「しかし、その方、すなわち真理の
御霊(ことば)が来ると、あなたがたをす
べての真理(神のことばは真理です)に
導き入れます。御霊は自分から語るの
ではなく、聞くまま(神のことば)を話し
(ことば)、また、やがて起ころうとしてい
ることをあなたがたに示すからです。
(御霊は預言のことばをもたらします)」

(ヨハネ 16:13)

注意してほしいのは、聖霊のバプテスマを受けた
証拠が異言、解釈、預言、叫び、踊りだとは、イエスは
言っておられないことです。そうではなくて、真理にと
どまることがその証なのです。もしあなたが聖霊に満
たされているのなら、あなたの時代の預言者が明らか
にしたことばを受け入れます。それこそが聖霊のバプ

は、あなたがたにすべてのことを教え、
また、わたしがあなたがたに話したすべ
てのことを思い起こさせてくださいま
す。」

(ヨハネ 14:26)

ここでも、ことばが来るのは、神の霊がおられる
からだということがわかります。

「しかし、その方、すなわち真理の
御霊(ことば)が来ると、あなたがたをす
べての真理(神のことばは真理です)に
導き入れます。御霊は自分から語るの
ではなく、聞くまま(神のことば)を話し
(ことば)、また、やがて起ころうとしてい
ることをあなたがたに示すからです。
(御霊は預言のことばをもたらします)」

(ヨハネ 16:13)

注意してほしいのは、聖霊のバプテスマを受けた
証拠が異言、解釈、預言、叫び、踊りだとは、イエスは
言っておられないことです。そうではなくて、真理にと
どまることがその証なのです。もしあなたが聖霊に満
たされているのなら、あなたの時代の預言者が明らか
にしたことばを受け入れます。それこそが聖霊のバプ

その人はみことばの実を結ぶでしょう。人の内側
にあるものがその人の生き方に表れ出ますから、その
働きは聖書にかなっていることでしょう。ペルガモ時
代へ宛てられた真理の告訴状はなんと厳しいこと
でしょう。比べることのできないお方が、手には鋭い両
刃の剣、神のことばを持って立っておられます。終わり
の日にそのことばによってわたしたちは裁かれます。
実際のところ、わたしたちは今すでにみことばによつて
裁かれているのです。神のことばは人の心の思いと
意図とを見分け、霊的なものと肉的なものとを真っ二
つに切り離し、わたしたちを生きた手紙として誰にでも
読めるようにし、神の栄光を知らせるものとされていま
す。

「わたしはあなたの行いを知っている。」もし神に
喜ばれるようなことをしていないと思うなら、みことば
に従うようになさい。「よくやった。忠実な良いしもべ
よ。」と、声をかけられる自信がないのなら、神のことば
にかなった生き方をするようにしなさい。そうすれば必
ず、このお褒めの言葉をいただくことができます。真
理のことばが当時の基準でした。そして今も同じ基準
です。別の基準も別の尺度もありません。世界はひと
りのキリスト・イエスによって裁かれます。つまりみこと
ばによって裁かれるのです。どのようにすれば基準に
達することができるか知りたいなら、ヤコブが奨めるよ

その人はみことばの実を結ぶでしょう。人の内側
にあるものがその人の生き方に表れ出ますから、その
働きは聖書にかなっていることでしょう。ペルガモ時
代へ宛てられた真理の告訴状はなんと厳しいこと
でしょう。比べることのできないお方が、手には鋭い両
刃の剣、神のことばを持って立っておられます。終わり
の日にそのことばによってわたしたちは裁かれます。
実際のところ、わたしたちは今すでにみことばによつて
裁かれているのです。神のことばは人の心の思いと
意図とを見分け、霊的なものと肉的なものとを真っ二
つに切り離し、わたしたちを生きた手紙として誰にでも
読めるようにし、神の栄光を知らせるものとされていま
す。

「わたしはあなたの行いを知っている。」もし神に
喜ばれるようなことをしていないと思うなら、みことば
に従うようになさい。「よくやった。忠実な良いしもべ
よ。」と、声をかけられる自信がないのなら、神のことば
にかなった生き方をするようにしなさい。そうすれば必
ず、このお褒めの言葉をいただくことができます。真
理のことばが当時の基準でした。そして今も同じ基準
です。別の基準も別の尺度もありません。世界はひと
りのキリスト・イエスによって裁かれます。つまりみこと
ばによって裁かれるのです。どのようにすれば基準に
達することができるか知りたいなら、ヤコブが奨めるよ

(ヤコブ 3:11)

「絶対にそんなことはありません。罪に対して死んだ私たちが、どうして、なおもその中に生きていられるでしょう。」

(ローマ 6:2)

「木が良ければ、その実も良いとし、木が悪ければその実も悪いとしなさい。木のよしあしはその実によって知られるからです。まむしのすえたち。おまえたち悪い者に、どうして良いことが言えましょう。心に満ちていることを口が話すのです。良い人は、良い倉から良い物を取り出し、悪い人は、悪い倉から悪い物を取り出すものです。」

(マタイ 12:33-35)

もし人がみことばから生まれるなら、「あなたがたが新しく生まれたのは、朽ちる種からではなく、朽ちない種からであり、生ける、いつまでも変わる事のない、神の言葉によるのです。」(ペテロ 1:23)

(ヤコブ 3:11)

「絶対にそんなことはありません。罪に対して死んだ私たちが、どうして、なおもその中に生きていられるでしょう。」

(ローマ 6:2)

「木が良ければ、その実も良いとし、木が悪ければその実も悪いとしなさい。木のよしあしはその実によって知られるからです。まむしのすえたち。おまえたち悪い者に、どうして良いことが言えましょう。心に満ちていることを口が話すのです。良い人は、良い倉から良い物を取り出し、悪い人は、悪い倉から悪い物を取り出すものです。」

(マタイ 12:33-35)

もし人がみことばから生まれるなら、「あなたがたが新しく生まれたのは、朽ちる種からではなく、朽ちない種からであり、生ける、いつまでも変わる事のない、神の言葉によるのです。」(ペテロ 1:23)

テスマを受けた証拠なのです。

「自分を預言者、あるいは、御霊の人と思う者は、私あなたがたに書くことが主の命令であることを認めなさい。」

(1コリント 14:37)

神の遣わした預言者のことばを受け入れて従うことで、聖霊が宿っていると証明できるのです。彼は教会の秩序を正す役割を神から授かっているのですから。パウロは、別の啓示を主張する人たちに向かってこう言いました、

「神の言葉は、あなたがたのところから出たのでしょうか。あるいはまた、あなたがたにだけ伝わったのでしょうか。」(1コリント 14:36)

このとおり、真理(みことば)を作り出す人ではなくて、真理(みことば)を受け、信じて従う人こそが、聖霊に満たされたキリスト者の証拠です。

「御霊と花嫁も言う。『来てください。』これを聞く者は、『来てください』と言いなさい。」

テスマを受けた証拠なのです。

「自分を預言者、あるいは、御霊の人と思う者は、私あなたがたに書くことが主の命令であることを認めなさい。」

(1コリント 14:37)

神の遣わした預言者のことばを受け入れて従うことで、聖霊が宿っていると証明できるのです。彼は教会の秩序を正す役割を神から授かっているのですから。パウロは、別の啓示を主張する人たちに向かってこう言いました、

「神の言葉は、あなたがたのところから出たのでしょうか。あるいはまた、あなたがたにだけ伝わったのでしょうか。」(1コリント 14:36)

このとおり、真理(みことば)を作り出す人ではなくて、真理(みことば)を受け、信じて従う人こそが、聖霊に満たされたキリスト者の証拠です。

「御霊と花嫁も言う。『来てください。』これを聞く者は、『来てください』と言いなさい。」

黙示録 22:17 に気づいたことがありますか。

お気づきになりましたか、花嫁は御霊と同じことばを語るのです。霊に満たされているということが、みことばの花嫁であることを裏付けます。すべての教会時代で、

「耳のある者は、御霊が諸教会に
言われることを聞きなさい。」

と言われています。御霊はことばを与えます。もしあなたに御霊が宿っているなら、回復され、解き明かされた真理のみことばを聞くでしょう。真のクリスチャンは時世のみことばを受けることができます。

繰り返しますが、すべての教会時代への挨拶文は「耳のある者(個々人)は御霊が諸教会に言われることを聞きなさい。」で終わります。御霊はことばを与えます。各時代に分与される真理があるからです。各時代には選ばれた者がいました。選ばれた者たちは必ず「ことばを聞き、」受け取り、それによって彼らが神の正統な子孫であることを証明しました。

「神から出た者は、神のことばに聞き従います。ですから、あなたがたが聞き従わないのは、あなたがたが神から出た者でないからです。」

黙示録 22:17 に気づいたことがありますか。

お気づきになりましたか、花嫁は御霊と同じことばを語るのです。霊に満たされているということが、みことばの花嫁であることを裏付けます。すべての教会時代で、

「耳のある者は、御霊が諸教会に
言われることを聞きなさい。」

と言われています。御霊はことばを与えます。もしあなたに御霊が宿っているなら、回復され、解き明かされた真理のみことばを聞くでしょう。真のクリスチャンは時世のみことばを受けることができます。

繰り返しますが、すべての教会時代への挨拶文は「耳のある者(個々人)は御霊が諸教会に言われることを聞きなさい。」で終わります。御霊はことばを与えます。各時代に分与される真理があるからです。各時代には選ばれた者がいました。選ばれた者たちは必ず「ことばを聞き、」受け取り、それによって彼らが神の正統な子孫であることを証明しました。

「神から出た者は、神のことばに聞き従います。ですから、あなたがたが聞き従わないのは、あなたがたが神から出た者でないからです。」

ところで殺されたときでも、わたしに対する信仰を捨てなかった。」

(黙示録 2:13)

『わたしはあなたの行いを知っている』七つの教会の七人の使者宛に、各時代の神の民に関して語られたことばです。同じことばが二つのぶどうの木(真と偽)に語られましたが、一方は心から喜び、もう片方は恐怖に打たれます。というのは、救いは各自の行いによらず、ただ神の恵みによって与えられますが、真に救われている人は神の喜ぶ働きや行いをもたらすのです。

「子どもたちよ。だれにも惑わされてはいけません。義を行う者は、キリストが正しくあられるのと同じように正しいのです。」

(1ヨハネ 3:7)

つまり、義を行う人は正しい人、行いと人は等しいのです。

「泉が甘い水と苦い水を同じ穴から湧き上がらせるというようなことがあるでしょうか。」

ところで殺されたときでも、わたしに対する信仰を捨てなかった。」

(黙示録 2:13)

『わたしはあなたの行いを知っている』七つの教会の七人の使者宛に、各時代の神の民に関して語られたことばです。同じことばが二つのぶどうの木(真と偽)に語られましたが、一方は心から喜び、もう片方は恐怖に打たれます。というのは、救いは各自の行いによらず、ただ神の恵みによって与えられますが、真に救われている人は神の喜ぶ働きや行いをもたらすのです。

「子どもたちよ。だれにも惑わされてはいけません。義を行う者は、キリストが正しくあられるのと同じように正しいのです。」

(1ヨハネ 3:7)

つまり、義を行う人は正しい人、行いと人は等しいのです。

「泉が甘い水と苦い水を同じ穴から湧き上がらせるというようなことがあるでしょうか。」

である預言者たちに告げられたとおりに成就する。」
黙示録 10:7)彼はエリヤと同じく真理を説き、それからシオンの山での対決の用意が整うことでしょう。

多くの人は、彼を理解しないでしよう。というのは、彼らは別の聖書解釈を真理として教え込まれているので、それに反して彼が訴える真理を信じることができないのです。真の働き人の中にさえ、あまりにも多くの嘘を神の真理として聞いていたために、理解を示すことができない人がいるでしょう。

しかしこの預言者は必ず現れます。初めの先駆者が「見よ、世の罪を除くための神の子羊」と叫んだように、彼も間違いなく叫ぶでしょう、「見よ、栄光のうちに来られる神の子羊」と。洗礼者ヨハネは選ばれた民に真理を告げるための使者でしたが、彼は、選ばれたみことばの花嫁を真理に立ち帰らせるため最後の使者となることでしょう。

キリストは彼の教会への賛辞

「わたしは、あなたの住んでいるところを知っている。そこにはサタンの王座がある。しかしあなたは、わたしの名を堅く保って、わたしの忠実な証人アンテパスがサタンの住むあなたがたの

である預言者たちに告げられたとおりに成就する。」
黙示録 10:7)彼はエリヤと同じく真理を説き、それからシオンの山での対決の用意が整うことでしょう。

多くの人は、彼を理解しないでしよう。というのは、彼らは別の聖書解釈を真理として教え込まれているので、それに反して彼が訴える真理を信じることができないのです。真の働き人の中にさえ、あまりにも多くの嘘を神の真理として聞いていたために、理解を示すことができない人がいるでしょう。

しかしこの預言者は必ず現れます。初めの先駆者が「見よ、世の罪を除くための神の子羊」と叫んだように、彼も間違いなく叫ぶでしょう、「見よ、栄光のうちに来られる神の子羊」と。洗礼者ヨハネは選ばれた民に真理を告げるための使者でしたが、彼は、選ばれたみことばの花嫁を真理に立ち帰らせるため最後の使者となることでしょう。

キリストは彼の教会への賛辞

「わたしは、あなたの住んでいるところを知っている。そこにはサタンの王座がある。しかしあなたは、わたしの名を堅く保って、わたしの忠実な証人アンテパスがサタンの住むあなたがたの

(ヨハネ 8:47)

彼らはみことば自体(イエス)と当時のイエスのことばを拒みましたが、正統な子孫はみことばを受けました。彼らが神から出た者であったからです。

「あなたの子どもたちはみな、主の教えを受け、あなたの子どもたちには、豊かな平安がある。」

(イザヤ 54:13)

イエスも同じことを言われました。

「預言者の書に、そして、彼らはみな神によって教えられる」と書かれていますが、父から聞いて学んだ者はみな、わたしのところにきます。」(ヨハネ 6:45)

イエスはヨハネ 6:45 で同じことを言いました。言葉と一つであることは、あなたが神のものであり、聖霊に満ちていることを証明します。他の基準はありません。

それなら異言や異言の解釈や、他の賜物は何でしょう？ それらは御霊の現れであるとみことばは教え

(ヨハネ 8:47)

彼らはみことば自体(イエス)と当時のイエスのことばを拒みましたが、正統な子孫はみことばを受けました。彼らが神から出た者であったからです。

「あなたの子どもたちはみな、主の教えを受け、あなたの子どもたちには、豊かな平安がある。」

(イザヤ 54:13)

イエスも同じことを言われました。

「預言者の書に、そして、彼らはみな神によって教えられる」と書かれていますが、父から聞いて学んだ者はみな、わたしのところにきます。」(ヨハネ 6:45)

イエスはヨハネ 6:45 で同じことを言いました。言葉と一つであることは、あなたが神のものであり、聖霊に満ちていることを証明します。他の基準はありません。

それなら異言や異言の解釈や、他の賜物は何でしょう？ それらは御霊の現れであるとみことばは教え

ています。

「しかし、みな益となるために、おののに御霊の現れが与えられているのです。」

(1コリント 12:7)

そしてパウロは、御霊の現れの種類をあげています。

これから話すことは、きっとみなさんも知りたいと思っただけで、真に聖霊に満たされていない限り、聖霊の現れがあるはずもないと考えるのは当然です。ではなぜ、霊の現れが聖霊のバプテスマを受けた証拠とならないのでしょうか。わたしは誰をも傷つけないので、そのとおりに言うことができたなら、わたしは忠実な神の僕ではありえなくなってしまう。

バラムの例を見てみましょう。彼は敬虔な人で神を崇拜していました。正しいやり方で犠牲を捧げ、正しい方法で神に近づきましたが、神の正統な子孫の預言者ではありませんでした。だから彼は不義な者から金を受け取り、最悪なことに、神の民を姦淫と偶像崇拜の罪におとしめました。しかし彼の預言が、

ています。

「しかし、みな益となるために、おののに御霊の現れが与えられているのです。」

(1コリント 12:7)

そしてパウロは、御霊の現れの種類をあげています。

これから話すことは、きっとみなさんも知りたいと思っただけで、真に聖霊に満たされていない限り、聖霊の現れがあるはずもないと考えるのは当然です。ではなぜ、霊の現れが聖霊のバプテスマを受けた証拠とならないのでしょうか。わたしは誰をも傷つけないので、そのとおりに言うことができたなら、わたしは忠実な神の僕ではありえなくなってしまう。

バラムの例を見てみましょう。彼は敬虔な人で神を崇拜していました。正しいやり方で犠牲を捧げ、正しい方法で神に近づきましたが、神の正統な子孫の預言者ではありませんでした。だから彼は不義な者から金を受け取り、最悪なことに、神の民を姦淫と偶像崇拜の罪におとしめました。しかし彼の預言が、

がみことばどおりにすると、然るべきしるしがやって来ましたが、まずみことばの元に来なさい、そうすれば奇跡を見ることが出来ます。みことばの種は霊によって活力を得ます。

どうして神から遣わされた使者が、みことばの一部だけ信じて、部分的に疑ったりすることができるでしょう。終わりのとき神から遣わされる預言者は、みことばを余さず宣言します。教団組織は彼を嫌うことでしょう。洗礼者ヨハネにマムシ呼ばわりされた人たちのように、彼の言葉は教団の人たちには不快に響くのです。しかし神に定められた人たちは、聞いて、携挙の準備をすることとなるでしょう。アブラハムの高貴な子孫は、アブラハムが神の約束を信じて疑わなかったように、しっかりみ言葉に繋がっているでしょう。アブラハムも子孫もともに、神によって前もって定められていた人たちですから。

神に定められたときが来ると、終わりのときの使者が現れます。今は終わりのときです。イスラエルが祖国に帰り、建国しましたから。マラキによれば、いつ彼が現れてもおかしくありません。その使者はみことばを奉じる者として現れ、みことばに注意を向ける働きをし、その働きは神によって立証されるでしょう。(「第七の御使いが吹き鳴らそうとしているラツパの音が響くその日には、神の奥義は、神がご自身のしもべ

がみことばどおりにすると、然るべきしるしがやって来ましたが、まずみことばの元に来なさい、そうすれば奇跡を見ることが出来ます。みことばの種は霊によって活力を得ます。

どうして神から遣わされた使者が、みことばの一部だけ信じて、部分的に疑ったりすることができるでしょう。終わりのとき神から遣わされる預言者は、みことばを余さず宣言します。教団組織は彼を嫌うことでしょう。洗礼者ヨハネにマムシ呼ばわりされた人たちのように、彼の言葉は教団の人たちには不快に響くのです。しかし神に定められた人たちは、聞いて、携挙の準備をすることとなるでしょう。アブラハムの高貴な子孫は、アブラハムが神の約束を信じて疑わなかったように、しっかりみ言葉に繋がっているでしょう。アブラハムも子孫もともに、神によって前もって定められていた人たちですから。

神に定められたときが来ると、終わりのときの使者が現れます。今は終わりのときです。イスラエルが祖国に帰り、建国しましたから。マラキによれば、いつ彼が現れてもおかしくありません。その使者はみことばを奉じる者として現れ、みことばに注意を向ける働きをし、その働きは神によって立証されるでしょう。(「第七の御使いが吹き鳴らそうとしているラツパの音が響くその日には、神の奥義は、神がご自身のしもべ

ませんでした。こんにちも、同じです。

こんにちどのようなことが起こっているかという、多くの人たちがしるしを行なっています。それによってしるしを求める世代が起こっていますが、彼らはみことばに頓着せず、真の神の霊の働きを知りません。血や油や火のしるしを見て喜びますが、それがみことばとなんの関係があるのか、深く考えません。あらゆるしるしを、反聖書的なものまでも受け入れてしまうことになるでしょう。しかしこのことに関して、神はずっと警告を与えてられました。キリストもマタイ24章でこう指摘しています。終わりのときには、ふたつの霊が似通ってきて、選ばれた者たちだけにようやく見分けがつくほどになるでしょう。彼らだけは偽の霊に騙されることはありません。

どうやってふたつの霊を見分けるのでしょうか。それはみことばで試すのです。みことばを伴わない霊は悪霊です。悪霊は最初の二人の花嫁を騙しましたが、終わりのときの花嫁をも、信条を信じさせて雑種の種を植え付けるか、あるいは適当なしるしを与えておいてみことばから引き離すことによって騙そうと試みるでしょう。しかし、神は決して、みことばに先立ってしるしを与えることはありません。エリヤが女性に、主のことばに従ってまず先にパンを焼くように言いつけたように、しるしはみことばの後に続くのです。その女性

ませんでした。こんにちも、同じです。

こんにちどのようなことが起こっているかという、多くの人たちがしるしを行なっています。それによってしるしを求める世代が起こっていますが、彼らはみことばに頓着せず、真の神の霊の働きを知りません。血や油や火のしるしを見て喜びますが、それがみことばとなんの関係があるのか、深く考えません。あらゆるしるしを、反聖書的なものまでも受け入れてしまうことになるでしょう。しかしこのことに関して、神はずっと警告を与えてられました。キリストもマタイ24章でこう指摘しています。終わりのときには、ふたつの霊が似通ってきて、選ばれた者たちだけにようやく見分けがつくほどになるでしょう。彼らだけは偽の霊に騙されることはありません。

どうやってふたつの霊を見分けるのでしょうか。それはみことばで試すのです。みことばを伴わない霊は悪霊です。悪霊は最初の二人の花嫁を騙しましたが、終わりのときの花嫁をも、信条を信じさせて雑種の種を植え付けるか、あるいは適当なしるしを与えておいてみことばから引き離すことによって騙そうと試みるでしょう。しかし、神は決して、みことばに先立ってしるしを与えることはありません。エリヤが女性に、主のことばに従ってまず先にパンを焼くように言いつけたように、しるしはみことばの後に続くのです。その女性

世界中でかつてないほど美しい表現で、かつ正確であり、それが神の霊に促されて語られたことを誰も否定できないでしょう。それでも、バラムは聖霊を受けたことがありませんでした。

では大祭司カヤパの場合はどうでしょう。聖書は、イエスがどのような死に方をするか、カヤパが預言したと記しています。しかし彼が、老いたシメオンやアンナと呼ばれた優しい聖人のように霊に満たされ、霊に導かれていたという記録はありません。それなのにカヤパに聖霊の現れがあったことを否定できません。では、どうして霊の現れを証拠とできるでしょう。無理です。もしあなたが本当に神の霊に満たされているなら、あなたはみことばに従った生き方をします。それが証拠です。

神が与えてくださった啓示によってどれだけ深くこの真理をつかんだか、お知らせしようと思いますが、その前に言っておきたいことがあります。多くの人がわたしを預言者であると信じています。わたしはそうは言いません。そう言っているのはあなたがたです。しかし神がわたしに与えてくださった幻が、一度も間違っていなかったことを、わたしたちは皆知っています。もし誰か、一つでも違っていたと証明できるなら教えてください。さて、ここからわたしのお話をします。

世界中でかつてないほど美しい表現で、かつ正確であり、それが神の霊に促されて語られたことを誰も否定できないでしょう。それでも、バラムは聖霊を受けたことがありませんでした。

では大祭司カヤパの場合はどうでしょう。聖書は、イエスがどのような死に方をするか、カヤパが預言したと記しています。しかし彼が、老いたシメオンやアンナと呼ばれた優しい聖人のように霊に満たされ、霊に導かれていたという記録はありません。それなのにカヤパに聖霊の現れがあったことを否定できません。では、どうして霊の現れを証拠とできるでしょう。無理です。もしあなたが本当に神の霊に満たされているなら、あなたはみことばに従った生き方をします。それが証拠です。

神が与えてくださった啓示によってどれだけ深くこの真理をつかんだか、お知らせしようと思いますが、その前に言っておきたいことがあります。多くの人がわたしを預言者であると信じています。わたしはそうは言いません。そう言っているのはあなたがたです。しかし神がわたしに与えてくださった幻が、一度も間違っていなかったことを、わたしたちは皆知っています。もし誰か、一つでも違っていたと証明できるなら教えてください。さて、ここからわたしのお話をします。

もう何年も前になりますが、初めてわたしがペンテコステの人たちに会ったのは、彼らのキャンプミーティングに参加した時でした。集会では異言や異言の解釈や預言が盛んに行われていました。特に二人の説教師が異言と解釈をしているのが際立っていました。わたしはその集会をすっかり楽しみ、霊のいろいろな現れに本当に夢中になりました。それらが真実のものに聞こえたからです。それら霊の賜物をもっとよく知りたいと心から願い、先の二人から話を聞くことにしました。わたしに与えられている神の賜物を通して、初めに話しかけた優しく謙虚そうな人の霊が、神からのものかそうでないかを確かめました。簡単な会話をするうちに、彼が正真正銘のクリスチャンであることがわかりました。次に話しかけた若い人は、まったく違いました。彼は自慢げで自惚れていましたが、彼と話しているうちに幻が目の中に飛び込んできて、彼が金髪の女性と結婚しているが、肌の黒い女性と暮らしている、その女性との間に二人の子供をもうけていることがわかりました。偽善者の最たるものでした。

わたしはとてもショックをうけました。それも当然です。二人の人がいて、一人は正真正銘のクリスチャンでもう一人は偽装した罪人だったのに、両人とも霊の賜物を使っていたのですから。わたしは混乱して思い悩んでしまいましたので、そっと集会を離れて、ひと

もう何年も前になりますが、初めてわたしがペンテコステの人たちに会ったのは、彼らのキャンプミーティングに参加した時でした。集会では異言や異言の解釈や預言が盛んに行われていました。特に二人の説教師が異言と解釈をしているのが際立っていました。わたしはその集会をすっかり楽しみ、霊のいろいろな現れに本当に夢中になりました。それらが真実のものに聞こえたからです。それら霊の賜物をもっとよく知りたいと心から願い、先の二人から話を聞くことにしました。わたしに与えられている神の賜物を通して、初めに話しかけた優しく謙虚そうな人の霊が、神からのものかそうでないかを確かめました。簡単な会話をするうちに、彼が正真正銘のクリスチャンであることがわかりました。次に話しかけた若い人は、まったく違いました。彼は自慢げで自惚れていましたが、彼と話しているうちに幻が目の中に飛び込んできて、彼が金髪の女性と結婚しているが、肌の黒い女性と暮らしている、その女性との間に二人の子供をもうけていることがわかりました。偽善者の最たるものでした。

わたしはとてもショックをうけました。それも当然です。二人の人がいて、一人は正真正銘のクリスチャンでもう一人は偽装した罪人だったのに、両人とも霊の賜物を使っていたのですから。わたしは混乱して思い悩んでしまいましたので、そっと集会を離れて、ひと

裏付け、花嫁を天に引き上げます。初めの決着場はカルメル山で、次は変容の山でした。そして最後、三番目はシオンの山になります。

モーゼやエリヤや洗礼者ヨハネは変わっていて、世間との関わりを避け、人々と距離を置いていました。そのことに多くの人が戸惑いましたが、それが彼らの発したメッセージが拒絶されたためであることに気づきませんでした。しかし拒絶されようがされまいがとにかく種は撒かれたのです。種まきの次にやって来たのは裁きでした。彼らは人々へのしるしとして、与えられた使命を達成し、それから裁きがやって来ました。

黙示録 13:16 を根拠に、獣が、宣教の許可を得るため手か額に刻印を要求するようになると、花嫁はみことばを宣べ伝えることができなくなると、私は信じています。教団組織は刻印を受けるでしょう。そうしないと宣教活動が禁止されるからです。それから神の子羊が来て花嫁を擁護し、大淫婦を裁くでしょう。

モーゼは使命を受けてこの世に誕生しましたが、使命を果たすために必要な賜物を受けるまでは活動をおこなうことができませんでした。彼は荒れ野に退き、神の定めの時が来るまで待っていました。定めのアラオが王座につき、民が糧を得るために嘆きの声をあげるまで、神はモーゼをエジプトに送ることができ

裏付け、花嫁を天に引き上げます。初めの決着場はカルメル山で、次は変容の山でした。そして最後、三番目はシオンの山になります。

モーゼやエリヤや洗礼者ヨハネは変わっていて、世間との関わりを避け、人々と距離を置いていました。そのことに多くの人が戸惑いましたが、それが彼らの発したメッセージが拒絶されたためであることに気づきませんでした。しかし拒絶されようがされまいがとにかく種は撒かれたのです。種まきの次にやって来たのは裁きでした。彼らは人々へのしるしとして、与えられた使命を達成し、それから裁きがやって来ました。

黙示録 13:16 を根拠に、獣が、宣教の許可を得るため手か額に刻印を要求するようになると、花嫁はみことばを宣べ伝えることができなくなると、私は信じています。教団組織は刻印を受けるでしょう。そうしないと宣教活動が禁止されるからです。それから神の子羊が来て花嫁を擁護し、大淫婦を裁くでしょう。

モーゼは使命を受けてこの世に誕生しましたが、使命を果たすために必要な賜物を受けるまでは活動をおこなうことができませんでした。彼は荒れ野に退き、神の定めの時が来るまで待っていました。定めのアラオが王座につき、民が糧を得るために嘆きの声をあげるまで、神はモーゼをエジプトに送ることができ

彼が拒絶されるのは、歴史が繰り返されるからで、アハブの時代も同じでした。アハブ統治時代のイスラエルの歴史が、マラキが預言した使者(預言者)がアメリカに登場している今、重なって見えます。イスラエルは自由に礼拝するためにエジプトを脱出し、原住民を追い出し、ダビデのような偉大な指導者を立て、国家を設立しました。しかし王の座にアハブが着くと、イザベルが背後の権力者になりました。アメリカも同じように、先祖たちが自由な礼拝と自由の生活を求めてこの土地にやってきて、原住民を奥地に追いやり、土地を自分たちのものにしました。最初はワシントンやリンカーンのような立派な人物が登場しましたが、次第に大統領としての能力に劣る者が後に続くようになり、とうとうアハブが大統領の座につき、彼の背後でイザベラが指揮をとるようになりました。そのようなときに、マラキの使者は現れることになるのです。それから後の雨の時期に、カルメル山での決着が起こることになります。ことばを注意して見てみましょう。洗礼者ヨハネはマラキ3章に記された、イエスの先駆者でした。彼は初めの雨の時期にみことばを蒔き、当時の教団組織から拒絶されました。それからイエスが登場し、高い山でみ姿の変容が行われました。二番目のキリストの先駆者(再臨前の)は後の雨の時期にみことばを蒔き、それからイエスが教団組織と信条に対決を挑みます。キリストは来て、みことばの正しさを

彼が拒絶されるのは、歴史が繰り返されるからで、アハブの時代も同じでした。アハブ統治時代のイスラエルの歴史が、マラキが預言した使者(預言者)がアメリカに登場している今、重なって見えます。イスラエルは自由に礼拝するためにエジプトを脱出し、原住民を追い出し、ダビデのような偉大な指導者を立て、国家を設立しました。しかし王の座にアハブが着くと、イザベルが背後の権力者になりました。アメリカも同じように、先祖たちが自由な礼拝と自由の生活を求めてこの土地にやってきて、原住民を奥地に追いやり、土地を自分たちのものにしました。最初はワシントンやリンカーンのような立派な人物が登場しましたが、次第に大統領としての能力に劣る者が後に続くようになり、とうとうアハブが大統領の座につき、彼の背後でイザベラが指揮をとるようになりました。そのようなときに、マラキの使者は現れることになるのです。それから後の雨の時期に、カルメル山での決着が起こることになります。ことばを注意して見てみましょう。洗礼者ヨハネはマラキ3章に記された、イエスの先駆者でした。彼は初めの雨の時期にみことばを蒔き、当時の教団組織から拒絶されました。それからイエスが登場し、高い山でみ姿の変容が行われました。二番目のキリストの先駆者(再臨前の)は後の雨の時期にみことばを蒔き、それからイエスが教団組織と信条に対決を挑みます。キリストは来て、みことばの正しさを

りて神を求めるため秘密の場所に行きました。答えを得るため聖書を置いて祈りました。何気なく聖書を開いてマタイの箇所を読み、聖書を置くと、風が部屋に吹き込んで聖書のページをめくってヘブル人への手紙6章が開きました。開かれたページを読んでいくと、特に4節から9節の風変わりな文章が心にとまりました。

「かつて悟りを開き、天の賜物を味わって、聖霊にあずかる者となった人々には、それは不可能なことです。そして、神の良い言葉と来世の力を味わい、彼らが再び悔い改めるために彼らを新たにするために、彼らが離れていくならば、彼らが神の子を自分自身に新たに十字架につけ、彼を公然と恥じさせるのを見る。時折降る雨を飲み、着飾った者のために草を生やす大地は、神から祝福を受けるからである。しかし、とげと茨を生むものは拒絶され、のろいに近づきます。その終わりは燃やされるべきです。しかし、愛する人よ、私たちはこのように話しますが、あなたのより良いこと、そして救いに伴うことを確信しています。

りて神を求めるため秘密の場所に行きました。答えを得るため聖書を置いて祈りました。何気なく聖書を開いてマタイの箇所を読み、聖書を置くと、風が部屋に吹き込んで聖書のページをめくってヘブル人への手紙6章が開きました。開かれたページを読んでいくと、特に4節から9節の風変わりな文章が心にとまりました。

「かつて悟りを開き、天の賜物を味わって、聖霊にあずかる者となった人々には、それは不可能なことです。そして、神の良い言葉と来世の力を味わい、彼らが再び悔い改めるために彼らを新たにするために、彼らが離れていくならば、彼らが神の子を自分自身に新たに十字架につけ、彼を公然と恥じさせるのを見る。時折降る雨を飲み、着飾った者のために草を生やす大地は、神から祝福を受けるからである。しかし、とげと茨を生むものは拒絶され、のろいに近づきます。その終わりは燃やされるべきです。しかし、愛する人よ、私たちはこのように話しますが、あなたのより良いこと、そして救いに伴うことを確信しています。

(ヘブル 6:4-9)

聖書を閉じて、しばらく目を閉じて集中し、それからまた少し祈りましたが、まだ答えはわかりませんでした。もう一度何気なく聖書を開いてみましたが、読みはしませんでした。すると突然風がまた部屋に吹き込み、ページをめくりだし、風がやんだときにはヘブル書6章が開いていました。もう一度同じ箇所を読んでみると、神の霊が部屋に降ったので、わたしは幻をみました。幻の中に、純白の衣を着たひとりの人が耕された畑に入っていく、穀物の種を蒔くのを見ました。晴れた日の朝方にその作業は終わりました。しかし白い衣の人が去った夜、黒い衣を着た人が忍び込んで来て、種が蒔かれていたところに別の種を蒔きました。大地は太陽と雨の祝福を受け、何日かたったある日、麦の芽が出ました。立派な芽でした。ところが一日経って毒草の芽も出ました。

麦と毒草は一緒に育ちました。同じ大地から栄養をとり、同じ太陽の恵みを受け、同じ雨を飲みました。

ある日、空がなまりのようになり、植物はしおれたり枯れたりし始めました。雨を求めて頭を上げ、麦が叫んでいるのが聞こえました。毒草も声をあげて雨を乞い求めました。すると空が暗くなって雨が降ってき

(ヘブル 6:4-9)

聖書を閉じて、しばらく目を閉じて集中し、それからまた少し祈りましたが、まだ答えはわかりませんでした。もう一度何気なく聖書を開いてみましたが、読みはしませんでした。すると突然風がまた部屋に吹き込み、ページをめくりだし、風がやんだときにはヘブル書6章が開いていました。もう一度同じ箇所を読んでみると、神の霊が部屋に降ったので、わたしは幻をみました。幻の中に、純白の衣を着たひとりの人が耕された畑に入っていく、穀物の種を蒔くのを見ました。晴れた日の朝方にその作業は終わりました。しかし白い衣の人が去った夜、黒い衣を着た人が忍び込んで来て、種が蒔かれていたところに別の種を蒔きました。大地は太陽と雨の祝福を受け、何日かたったある日、麦の芽が出ました。立派な芽でした。ところが一日経って毒草の芽も出ました。

麦と毒草は一緒に育ちました。同じ大地から栄養をとり、同じ太陽の恵みを受け、同じ雨を飲みました。

ある日、空がなまりのようになり、植物はしおれたり枯れたりし始めました。雨を求めて頭を上げ、麦が叫んでいるのが聞こえました。毒草も声をあげて雨を乞い求めました。すると空が暗くなって雨が降ってき

て自分たちの教条や教義を押し出す、それが彼らのしていることです。それらの行為から、彼らが誰の子孫かわかります。しかし、皆がモーゼから離れ、みことばを置き去りにしたわけではありませんでした。選ばれた人たちはモーゼのもとに踏みとどまりました。こんにちも同じことがおきています。大勢がみことばから離れていきますが、みことばにとどまる人たちもいます。麦と毒草のたとえを思い出してください。毒草は束ねられて焼かれました。これら背教者らの集う教会は互いにますます結束を強めていき、烈火による神の裁きを受ける準備をしています。しかし麦は主のもとに集められます。

さて、このことはみなさんに注意を払っていただきたいのですが、神は終わりのときにマラキ4章を成就すると約束されたました。霊力を持つ神のことばが預言者マラキの口から発せられたのですから、必ずそうなります。キリストが再臨される前にそのことは起こります。イエスが来られるときには、すべての聖書が成就するのです。マラキ4章の語る使者は、異邦人のときが終わる最後の教会時代に現れます。彼はみことばに忠実で、聖書の創世記から黙示録まですべてにわたって、同意し受けとめます。彼は蛇の子孫の問題に着手し、後の雨の時期のメッセージを続けます。しかし彼は教団組織から拒絶されるでしょう。

て自分たちの教条や教義を押し出す、それが彼らのしていることです。それらの行為から、彼らが誰の子孫かわかります。しかし、皆がモーゼから離れ、みことばを置き去りにしたわけではありませんでした。選ばれた人たちはモーゼのもとに踏みとどまりました。こんにちも同じことがおきています。大勢がみことばから離れていきますが、みことばにとどまる人たちもいます。麦と毒草のたとえを思い出してください。毒草は束ねられて焼かれました。これら背教者らの集う教会は互いにますます結束を強めていき、烈火による神の裁きを受ける準備をしています。しかし麦は主のもとに集められます。

さて、このことはみなさんに注意を払っていただきたいのですが、神は終わりのときにマラキ4章を成就すると約束されたました。霊力を持つ神のことばが預言者マラキの口から発せられたのですから、必ずそうなります。キリストが再臨される前にそのことは起こります。イエスが来られるときには、すべての聖書が成就するのです。マラキ4章の語る使者は、異邦人のときが終わる最後の教会時代に現れます。彼はみことばに忠実で、聖書の創世記から黙示録まですべてにわたって、同意し受けとめます。彼は蛇の子孫の問題に着手し、後の雨の時期のメッセージを続けます。しかし彼は教団組織から拒絶されるでしょう。

は父親の(祭司の)学校に行かず、フアリサイ派の学校にも行かず、そればかりか宗教組織に属さず、荒野に行きました。神に呼ばれたからです。ずっとそこにとどまっていたのですが、主からことばを託されたので出てきて叫びました、「待望のメシアが来る」と。

今度は聖書から警告を読んでみましょう。神から遣わされた正真正銘の預言者モーゼの時代に、コラが蜂起してモーゼに反抗しました。彼はモーゼと言いつ争い、自分もモーゼと同じくらい神から受けているのだから人々を指導できるし、他の人たちもモーゼと同じく神の啓示を受けているのだから、それをモーゼが独占しているのは不当であると主張しました。コラはモーゼに与えられている権威を否定したのです。さて、その他の人たちですが、真のみことばを聞き、モーゼが神に立証された真の預言者であるという事実には慣れているにも関わらず、彼らはコラの側に立ち、彼の反論を支持したのです。コラは聖書的預言者ではありませんでしたが、指導者たちも含めて大勢の人たちが、コラに加担しました。黄金の牛政策を掲げる現代の宣教師たちは、何とコラに似ているのでしょうか。コラ同様、彼らも人々に好感を持たれています。額に血をつけ、手に油をのせ、壇上から火の玉を出します。女性が説教することを許し、女性が髪を切り、ズボンやショートパンツをはくのを許し、神のことばを回避し

は父親の(祭司の)学校に行かず、フアリサイ派の学校にも行かず、そればかりか宗教組織に属さず、荒野に行きました。神に呼ばれたからです。ずっとそこにとどまっていたのですが、主からことばを託されたので出てきて叫びました、「待望のメシアが来る」と。

今度は聖書から警告を読んでみましょう。神から遣わされた正真正銘の預言者モーゼの時代に、コラが蜂起してモーゼに反抗しました。彼はモーゼと言いつ争い、自分もモーゼと同じくらい神から受けているのだから人々を指導できるし、他の人たちもモーゼと同じく神の啓示を受けているのだから、それをモーゼが独占しているのは不当であると主張しました。コラはモーゼに与えられている権威を否定したのです。さて、その他の人たちですが、真のみことばを聞き、モーゼが神に立証された真の預言者であるという事実には慣れているにも関わらず、彼らはコラの側に立ち、彼の反論を支持したのです。コラは聖書的預言者ではありませんでしたが、指導者たちも含めて大勢の人たちが、コラに加担しました。黄金の牛政策を掲げる現代の宣教師たちは、何とコラに似ているのでしょうか。コラ同様、彼らも人々に好感を持たれています。額に血をつけ、手に油をのせ、壇上から火の玉を出します。女性が説教することを許し、女性が髪を切り、ズボンやショートパンツをはくのを許し、神のことばを回避し

ました。麦は力いっぱい熱烈な声をあげて叫びました、「主をたたえます！」すると驚いたことに、生を取り戻した毒草も上を見て言いました、「ハレルヤ！」

それでキャンプミーティングと幻の真理がわかりました。種をまく人と種のたとえ話と、ヘブル書6章に書かれていることと、雑多な聴衆の中で現れた霊的賜物、すべてがはっきりと解明しました。白い衣を着た種蒔き人は主で、黒い衣の種蒔き人は悪魔で、畑は世界で、種は選ばれた人たちと破滅者たちです。どちらのグループの人たちも同じ栄養と水と太陽を享受し、どちらも祈り、どちらも神に助けられました。神は太陽と雨の創造主ですから、善い者にも悪い者にも分け隔てされません。どちらのグループも神から同じ祝福を受け、同じ現れを体験しましたが、ひとつ大きな違いがありました。彼らは別種の子孫だったのです。

もうひとつ、真理を裏付ける聖書箇所がありません。

「わたしに向かって、『主よ、主よ』と言う者がみな天の御国に入るのではなく、天におられるわたしの父の御心を行う者が入るのです。その日には、大ぜいの者がわたしに言うでしょう、『主よ、主よ。私たちはあなたの名によって

ました。麦は力いっぱい熱烈な声をあげて叫びました、「主をたたえます！」すると驚いたことに、生を取り戻した毒草も上を見て言いました、「ハレルヤ！」

それでキャンプミーティングと幻の真理がわかりました。種をまく人と種のたとえ話と、ヘブル書6章に書かれていることと、雑多な聴衆の中で現れた霊的賜物、すべてがはっきりと解明しました。白い衣を着た種蒔き人は主で、黒い衣の種蒔き人は悪魔で、畑は世界で、種は選ばれた人たちと破滅者たちです。どちらのグループの人たちも同じ栄養と水と太陽を享受し、どちらも祈り、どちらも神に助けられました。神は太陽と雨の創造主ですから、善い者にも悪い者にも分け隔てされません。どちらのグループも神から同じ祝福を受け、同じ現れを体験しましたが、ひとつ大きな違いがありました。彼らは別種の子孫だったのです。

もうひとつ、真理を裏付ける聖書箇所がありません。

「わたしに向かって、『主よ、主よ』と言う者がみな天の御国に入るのではなく、天におられるわたしの父の御心を行う者が入るのです。その日には、大ぜいの者がわたしに言うでしょう、『主よ、主よ。私たちはあなたの名によって

預言をし、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって奇跡をたくさん行ったではありませんか。』しかし、その時、わたしは彼らにこう宣告します。『わたしはあなたがたを全然知らない。不法をなす者ども、わたしから離れて行け。』

(マタイ 7:21-23)

イエスは彼らの力づよい働きが聖霊によるものであることを否定しません。しかし彼らを知らないとはっきり言われました。彼らは教会につまずいた人たちではなく、もともと邪悪で、もともと改心しておらず、破壊者でした。彼らはサタンの子孫たちです。

ですから、霊の現れがあるからといって聖霊に満たされているとか、聖霊によって生まれ変わったとかいうことはできないのです。まことの霊の現れなら、それは聖霊が働いている証拠であることは認めます。しかし、個人がどれほど霊の現れを用いようとも、それがその人が聖霊に満たされている証拠であるとは認められません。

こんにち聖霊を受けている証しは、主が地上でみことばを語っておられたときの証しと同じです。あな

預言をし、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって奇跡をたくさん行ったではありませんか。』しかし、その時、わたしは彼らにこう宣告します。『わたしはあなたがたを全然知らない。不法をなす者ども、わたしから離れて行け。』

(マタイ 7:21-23)

イエスは彼らの力づよい働きが聖霊によるものであることを否定しません。しかし彼らを知らないとはっきり言われました。彼らは教会につまずいた人たちではなく、もともと邪悪で、もともと改心しておらず、破壊者でした。彼らはサタンの子孫たちです。

ですから、霊の現れがあるからといって聖霊に満たされているとか、聖霊によって生まれ変わったとかいうことはできないのです。まことの霊の現れなら、それは聖霊が働いている証拠であることは認めます。しかし、個人がどれほど霊の現れを用いようとも、それがその人が聖霊に満たされている証拠であるとは認められません。

こんにち聖霊を受けている証しは、主が地上でみことばを語っておられたときの証しと同じです。あな

モーゼの例をみてみましょう。モーゼという強烈な油注ぎを受けた預言者は、変わった生まれの人でした。彼はエジプトからアブラハムの子孫を解放するために、定められた時に生まれました。彼はエジプトで聖書論争をせず、祭司たちに苦情を言い立てたりもしませんでした。神がモーゼを荒れ野に呼びましたので、彼は下っていき、人々が彼を受け容れることができるようになるまでそこにとどまっていた。荒れ野で待たされたのはモーゼのせいではなく、人々が彼を受け容れる準備が整っていなかったからです。モーゼは人々の理解を得ることができると思っていたのですが、そうではなかったからです。

それから、主のことばがエリヤに臨み、アメリカ版イザベルの先駆者、つまり元祖イザベルのグループに真理を説きましたが、拒絶されてしまいました。神はエリヤを荒野に導く一方、神から遣わされた預言者とメッセージを拒絶した世代に災いを下しました。エリヤは神に言われたとおり荒野にとどまり、王が呼びに来ても応じませんでした。彼を呼び出そうと試みた人たちは死にました。しかし神が幻によって忠実な預言者に語られたので、彼は隠れ場から出てきてイスラエルにみことばをもたらしました。

それから、キリストの忠実な先駆者、時世の強烈な預言者である洗礼者ヨハネが登場しました。ヨハネ

モーゼの例をみてみましょう。モーゼという強烈な油注ぎを受けた預言者は、変わった生まれの人でした。彼はエジプトからアブラハムの子孫を解放するために、定められた時に生まれました。彼はエジプトで聖書論争をせず、祭司たちに苦情を言い立てたりもしませんでした。神がモーゼを荒れ野に呼びましたので、彼は下っていき、人々が彼を受け容れることができるようになるまでそこにとどまっていた。荒れ野で待たされたのはモーゼのせいではなく、人々が彼を受け容れる準備が整っていなかったからです。モーゼは人々の理解を得ることができると思っていたのですが、そうではなかったからです。

それから、主のことばがエリヤに臨み、アメリカ版イザベルの先駆者、つまり元祖イザベルのグループに真理を説きましたが、拒絶されてしまいました。神はエリヤを荒野に導く一方、神から遣わされた預言者とメッセージを拒絶した世代に災いを下しました。エリヤは神に言われたとおり荒野にとどまり、王が呼びに来ても応じませんでした。彼を呼び出そうと試みた人たちは死にました。しかし神が幻によって忠実な預言者に語られたので、彼は隠れ場から出てきてイスラエルにみことばをもたらしました。

それから、キリストの忠実な先駆者、時世の強烈な預言者である洗礼者ヨハネが登場しました。ヨハネ

よう。彼らの約束の地が間近であったように、わたしたちの約束の地も姿を現しはじめています。ヨシユアとは、神は救い主という意味で、終わりの時代の指導者を代表しています。教会時代の初めの指導者はパウロでした。そしてカレブはヨシユアとともに真理に忠実な人々を代表します。神は最初イスラエルをみことばを純粹に受け入れる処女として造りました。しかし彼らはみことば以外のものを欲しがりました。終わりの時代の教会も同様です。神は、ときが満ちるまでイスラエルを約束の地に導き入れませんでした。今、人々はヨシユアなる指導者を急かして、こう言っているようです、「その土地はわたしたちのものだ。さあ、行って占領しよう。ヨシユアよ、あなたは役に立たなくなりました。任務を忘れたのか、あなたがかつて持っていた力はどこに行ってしまったのか。かつては神から聞いて、神の御心を知って、すぐに行動したではないか。どうかしてしまったのか。」しかしヨシユアは神から遣わされた預言者なので、神の約束を知っていました。だから待ったのです。彼は神からはっきりと決定が下るまで待ちました。そして行動する時がくると、神はヨシユアの手にも全主導権を与えました。彼がみことばにとどまっていたからです。神はヨシユアを信頼することができましたが、他の人々を信頼しませんでした。この終わりの時代も同じことが繰り返されるでしょう。同じ問題がおき、同じ圧力がかかっています。

よう。彼らの約束の地が間近であったように、わたしたちの約束の地も姿を現しはじめています。ヨシユアとは、神は救い主という意味で、終わりの時代の指導者を代表しています。教会時代の初めの指導者はパウロでした。そしてカレブはヨシユアとともに真理に忠実な人々を代表します。神は最初イスラエルをみことばを純粹に受け入れる処女として造りました。しかし彼らはみことば以外のものを欲しがりました。終わりの時代の教会も同様です。神は、ときが満ちるまでイスラエルを約束の地に導き入れませんでした。今、人々はヨシユアなる指導者を急かして、こう言っているようです、「その土地はわたしたちのものだ。さあ、行って占領しよう。ヨシユアよ、あなたは役に立たなくなりました。任務を忘れたのか、あなたがかつて持っていた力はどこに行ってしまったのか。かつては神から聞いて、神の御心を知って、すぐに行動したではないか。どうかしてしまったのか。」しかしヨシユアは神から遣わされた預言者なので、神の約束を知っていました。だから待ったのです。彼は神からはっきりと決定が下るまで待ちました。そして行動する時がくると、神はヨシユアの手にも全主導権を与えました。彼がみことばにとどまっていたからです。神はヨシユアを信頼することができましたが、他の人々を信頼しませんでした。この終わりの時代も同じことが繰り返されるでしょう。同じ問題がおき、同じ圧力がかかっています。

たの時世に語られた真理のみことばを受け入れることです。イエスはみことばを聞く重要性を強調されましたが、行いについてはそれほど強調されませんでした。それは、みことばを受け入れた人には行いが伴うことを知っておられたからです。これは聖書的です。ね。

ペルガモ時代に教会がみことばから離れてしまうことを、その 200 年前にイエスはパトモス島でヨハネに告げられました。イエスは、みことばから離れた後に暗黒時代が来ることを知っておられました。原始から、人が神から離れてしまう原因は、みことばからはずれることだともわかっていました。もしみことばから離れるなら、神から離れてしまうのです。ですからイエスはペルガモの教会に、そしてすべての時代の教会に、ご自身のことを、「わたしはことばである。もしあなたが神を受け入れたいのなら、ことばを喜んで受け入れなさい。あなたとみことばの間に、何ものも介入させてはいけない。わたしがあなたに与えるもの(ことば)は、わたし自身の啓示である。わたしはことばです。忘れないように。」とっておられるのです。

みことばの影響は、じゅうぶんわたしたちのうちに浸透しているでしょうか。わたしたちはどのように祈っているでしょう、イエスの名によって祈りますよね。イエスの名によって祈らないと答えが与えられません。

たの時世に語られた真理のみことばを受け入れることです。イエスはみことばを聞く重要性を強調されましたが、行いについてはそれほど強調されませんでした。それは、みことばを受け入れた人には行いが伴うことを知っておられたからです。これは聖書的です。ね。

ペルガモ時代に教会がみことばから離れてしまうことを、その 200 年前にイエスはパトモス島でヨハネに告げられました。イエスは、みことばから離れた後に暗黒時代が来ることを知っておられました。原始から、人が神から離れてしまう原因は、みことばからはずれることだともわかっていました。もしみことばから離れるなら、神から離れてしまうのです。ですからイエスはペルガモの教会に、そしてすべての時代の教会に、ご自身のことを、「わたしはことばである。もしあなたが神を受け入れたいのなら、ことばを喜んで受け入れなさい。あなたとみことばの間に、何ものも介入させてはいけない。わたしがあなたに与えるもの(ことば)は、わたし自身の啓示である。わたしはことばです。忘れないように。」とっておられるのです。

みことばの影響は、じゅうぶんわたしたちのうちに浸透しているでしょうか。わたしたちはどのように祈っているでしょう、イエスの名によって祈りますよね。イエスの名によって祈らないと答えが与えられません。

しかし、

「何事でも神のみこころにかなう願いをするなら、神はその願いを聞いてくださるといこと、これこそ神に対する私たちの確信です。」

(1ヨハネ 5:14)

とあります。では、何が神のみこころなのでしょう。それを知る方法はただひとつ、それは神のこことばによります。

「主が命じたのでなければ、誰がこのようなことを語り、このようなことを起こしえようか。」

(哀歌 3:37)

つまり、主が命じられたとおりに言えば、そのこことばどおりになるということです。みことばからはずれていければ、祈りはかなえられません。みことばにかなっていないければ、願い求めることはできませんし、主の名によって願わなければ、かなえられません。イエス(み名)はこことば(みこころ)なのです。神とこことばを切り離すことはできません。神とこことばは一致しています。

しかし、

「何事でも神のみこころにかなう願いをするなら、神はその願いを聞いてくださるといこと、これこそ神に対する私たちの確信です。」

(1ヨハネ 5:14)

とあります。では、何が神のみこころなのでしょう。それを知る方法はただひとつ、それは神のこことばによります。

「主が命じたのでなければ、誰がこのようなことを語り、このようなことを起こしえようか。」

(哀歌 3:37)

つまり、主が命じられたとおりに言えば、そのこことばどおりになるということです。みことばからはずれていければ、祈りはかなえられません。みことばにかなっていないければ、願い求めることはできませんし、主の名によって願わなければ、かなえられません。イエス(み名)はこことば(みこころ)なのです。神とこことばを切り離すことはできません。神とこことばは一致しています。

す。ですから彼女に害を加えるものは何もありません。死でさえも害をなしません。種が蒔かれると、水が芽をださせます。ここに秘密があります。みことばは、マリアの内にあつたように、花嫁の内にもあります。花嫁はキリストの思いを抱いているので、彼がしたいと願っていることをこことばに現すことができます。彼女はイエスの名によって、みことばの命令を出します。彼女が「主がこう言われる」と言って、こことばを発すると、霊が働いてこことばのとおりになるのです。種が蒔かれて水が与えられると、豊かな収穫となり、目的が果たされるのと同じです。

花嫁なる人たちはキリストの御心だけを行います。誰も別のことを強要することはできません。彼らは「主がこう言われる」というみことばの権威を持っていますが、主から何も示されなければ黙っています。彼らのうちにおられる神がみわざを行い、みことばを成就されていることを彼らは知っています。イエスは地上でのミニストリーでやり残していたことを、今、花嫁をとおして行なわれます。時が満ちて、今やるべきことを、イエスが花嫁をとおして行なっているということを彼女は知っています。そしてイエスはこの時節のために残しておいた働きを、花嫁をとおして完成させようとしておられます。

さあ、ヨシユアとカレブのようにしっかり立ちまし

す。ですから彼女に害を加えるものは何もありません。死でさえも害をなしません。種が蒔かれると、水が芽をださせます。ここに秘密があります。みことばは、マリアの内にあつたように、花嫁の内にもあります。花嫁はキリストの思いを抱いているので、彼がしたいと願っていることをこことばに現すことができます。彼女はイエスの名によって、みことばの命令を出します。彼女が「主がこう言われる」と言って、こことばを発すると、霊が働いてこことばのとおりになるのです。種が蒔かれて水が与えられると、豊かな収穫となり、目的が果たされるのと同じです。

花嫁なる人たちはキリストの御心だけを行います。誰も別のことを強要することはできません。彼らは「主がこう言われる」というみことばの権威を持っていますが、主から何も示されなければ黙っています。彼らのうちにおられる神がみわざを行い、みことばを成就されていることを彼らは知っています。イエスは地上でのミニストリーでやり残していたことを、今、花嫁をとおして行なわれます。時が満ちて、今やるべきことを、イエスが花嫁をとおして行なっているということを彼女は知っています。そしてイエスはこの時節のために残しておいた働きを、花嫁をとおして完成させようとしておられます。

さあ、ヨシユアとカレブのようにしっかり立ちまし

その中の愛する花嫁を用いて、神はキリストを現されます。この花嫁は神のことばに対して無垢です。というのは、人の作った教条や教義を受け入れていないからです。神の約束は、定められた処女のうちに現れ、花嫁たちをとおして成就することになります。

約束のことばはマリアに訪れました。その約束のことばはイエスご自身でした。ことばをとおして神ご自身が現れるためです。その時イエスご自身をとおして、ご自身の約束のことばが処女マリアのうちに成就したのです。実際にマリアを訪れたのは天使でしたが、天使が伝えたことばは神のことばでした。(イザヤ 9:6)その時、イエスについて書かれた預言が成就しました。マリアがおことばのとおりになりますようにと言って受諾したからです。

おとめなる花嫁たちはイエスを愛し、彼の持っている力を持つことになるでしょう。イエスが彼女らのかしらであり、すべての力は彼のものだからです。体が頭からの司令を受けて動くように、花嫁たちもイエスに従います。

イエスが父と調和していて、父から示されないことは何も行わなかったように(ヨハネ 5:19)、花婿と花嫁の間にも今や同じ調和が存在します。花婿がいのちのことばを示すと、花嫁は疑うことなくそれを受けま

その中の愛する花嫁を用いて、神はキリストを現されます。この花嫁は神のことばに対して無垢です。というのは、人の作った教条や教義を受け入れていないからです。神の約束は、定められた処女のうちに現れ、花嫁たちをとおして成就することになります。

約束のことばはマリアに訪れました。その約束のことばはイエスご自身でした。ことばをとおして神ご自身が現れるためです。その時イエスご自身をとおして、ご自身の約束のことばが処女マリアのうちに成就したのです。実際にマリアを訪れたのは天使でしたが、天使が伝えたことばは神のことばでした。(イザヤ 9:6)その時、イエスについて書かれた預言が成就しました。マリアがおことばのとおりになりますようにと言って受諾したからです。

おとめなる花嫁たちはイエスを愛し、彼の持っている力を持つことになるでしょう。イエスが彼女らのかしらであり、すべての力は彼のものだからです。体が頭からの司令を受けて動くように、花嫁たちもイエスに従います。

イエスが父と調和していて、父から示されないことは何も行わなかったように(ヨハネ 5:19)、花婿と花嫁の間にも今や同じ調和が存在します。花婿がいのちのことばを示すと、花嫁は疑うことなくそれを受けま

聖書に書かれたことばはイエスの一部なのです。もしあなたが信仰によってそれを受け入れて、聖霊に満ちた生活を送るなら、そのことがわかります。

「わたしがあなたがたに話したことばは、霊であり、またいのちです。」(ヨハネ 6:63b)

「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。」

(ヨハネ 14:6)

「キリスの霊を持たない人は、キリストのものではありません。」

(ローマ 8:9b)

このとおり、イエスは霊であり、いのちなのです。これがみことばであり、これがイエスです。イエスはことばです。ですから、聖霊によって生まれ変わり、聖霊に満たされた生活をしている人が信仰によってみことばを心に収めてから口に出すなら、それはまさに神が語っているのと同じことなのです。どのような山をも揺りうごかすことができますし、サタンはそのような人に歯が立ちません。

聖書に書かれたことばはイエスの一部なのです。もしあなたが信仰によってそれを受け入れて、聖霊に満ちた生活を送るなら、そのことがわかります。

「わたしがあなたがたに話したことばは、霊であり、またいのちです。」(ヨハネ 6:63b)

「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。」

(ヨハネ 14:6)

「キリスの霊を持たない人は、キリストのものではありません。」

(ローマ 8:9b)

このとおり、イエスは霊であり、いのちなのです。これがみことばであり、これがイエスです。イエスはことばです。ですから、聖霊によって生まれ変わり、聖霊に満たされた生活をしている人が信仰によってみことばを心に収めてから口に出すなら、それはまさに神が語っているのと同じことなのです。どのような山をも揺りうごかすことができますし、サタンはそのような人に歯が立ちません。

もしペルガモの教会が、教会の中を歩かれる生きたみことばの啓示をしっかり掴んでさえいたら、神の力を失って行って暗黒時代に突入することもなかったでしょう。そしてこんにち、もし教会が信仰を働かせてみことばに立ち返るなら、間違いなく神の栄光と神の素晴らしいみわざを体験することでしょう。

神の御言葉と彼の花嫁

ある晩、わたしが主を祈り求めていたところ、聖霊からペンを持って書くように促されました。ペンを持って書こうとすると、聖霊から教会へのメッセージを示されました。そのことを話したいと思います……みことばと花嫁に関する内容です。

これがわたしが伝えようとしていることです。再生の法則とは、それぞれの種が同じ種を再生するというので、創世記に記されています。

「神は仰せられた。『地が植物、すなわち種を生じる草やその中に種がある実を結ぶ果樹を、種類に従って、地の上に芽ばえさせよ。』そのようになった。』(創世記 1:11)

種の中にある生命が草を生えさせ、実を結びます。同じ法則がこんにちの教会にも当てはまります。

もしペルガモの教会が、教会の中を歩かれる生きたみことばの啓示をしっかり掴んでさえいたら、神の力を失って行って暗黒時代に突入することもなかったでしょう。そしてこんにち、もし教会が信仰を働かせてみことばに立ち返るなら、間違いなく神の栄光と神の素晴らしいみわざを体験することでしょう。

神の御言葉と彼の花嫁

ある晩、わたしが主を祈り求めていたところ、聖霊からペンを持って書くように促されました。ペンを持って書こうとすると、聖霊から教会へのメッセージを示されました。そのことを話したいと思います……みことばと花嫁に関する内容です。

これがわたしが伝えようとしていることです。再生の法則とは、それぞれの種が同じ種を再生するというので、創世記に記されています。

「神は仰せられた。『地が植物、すなわち種を生じる草やその中に種がある実を結ぶ果樹を、種類に従って、地の上に芽ばえさせよ。』そのようになった。』(創世記 1:11)

種の中にある生命が草を生えさせ、実を結びます。同じ法則がこんにちの教会にも当てはまります。

教会の種が蒔かれると、その種のとおり教会になるのです。この終わりの時代に、真の花嫁の教会(キリストの子孫)は、かしら石を迎えることとなります。すると教会はキリストに似たものとなり、超教会、超人類となります。花嫁なる人たちはキリストにとっても似通ってきて、しまいにはキリストのイメージそのものになるでしょう。それはキリストと一致するからです。花嫁とキリストはひとつになります。彼らは生ける神のことばそのものの現れになります。教会組織はそうはなりません。彼らから生ずるものはみことばの教えに教条、教義を混ぜ合わせたものです。雑種は雑種を産みます。

初めの人(アダム)は神の仰せのことばから生まれました。そして彼には、彼と同じ子をもうけるために花嫁が与えられました。しかし、花嫁は誘惑に負けてしまいました。そのために雑種が入り込み、人が死を経験しなければならない結果に陥ったのです。

第二の人(イエス)も神の仰せのことばで、アダムと同様、花嫁が与えられました。しかしイエスと結婚する前に花嫁は墮落してしまいました。アダムの妻と同様、神のことばを信じて生きるか、ことばを疑って死ぬかの選択を迫られた時、疑う方を選んだのです。それで彼女はみことばから離れて、死んでしまいました。

みことばにとどまる真の子孫たちは少数ですが、

教会の種が蒔かれると、その種のとおり教会になるのです。この終わりの時代に、真の花嫁の教会(キリストの子孫)は、かしら石を迎えることとなります。すると教会はキリストに似たものとなり、超教会、超人類となります。花嫁なる人たちはキリストにとっても似通ってきて、しまいにはキリストのイメージそのものになるでしょう。それはキリストと一致するからです。花嫁とキリストはひとつになります。彼らは生ける神のことばそのものの現れになります。教会組織はそうはなりません。彼らから生ずるものはみことばの教えに教条、教義を混ぜ合わせたものです。雑種は雑種を産みます。

初めの人(アダム)は神の仰せのことばから生まれました。そして彼には、彼と同じ子をもうけるために花嫁が与えられました。しかし、花嫁は誘惑に負けてしまいました。そのために雑種が入り込み、人が死を経験しなければならない結果に陥ったのです。

第二の人(イエス)も神の仰せのことばで、アダムと同様、花嫁が与えられました。しかしイエスと結婚する前に花嫁は墮落してしまいました。アダムの妻と同様、神のことばを信じて生きるか、ことばを疑って死ぬかの選択を迫られた時、疑う方を選んだのです。それで彼女はみことばから離れて、死んでしまいました。

みことばにとどまる真の子孫たちは少数ですが、